friendship force
WESTERN TOKYO

西東京クラブ会報第40号 2025年1月号

2024年の活動・渡航

トルコ・チャンカヤクラブ渡航

●ホストと接して（田中満穂）

５月27日から６月2日まで、西東京、郡山、名古屋、豪ゴールドコーストの４クラブ、合計14人での渡航しました。

HCのAyseは歴史的建造物復元の専門家で、考古学好きの自分の興味からトルコに数多くある遺跡もプログラムに入れてもらえないか打診しました。結果、限られた5日間の中に発掘現場見学も含めた盛りだくさんのプログラムを組んでもらいました。チャンカヤから300km近く離れたカッパドキアの遺構見学、ケーブホテル宿泊体験もでき、特に早朝4時半からスタートした熱気球体験は圧巻でした。毎日朝早くから夜遅くまで、それこそぎっしり詰め込んだプログラムとなり、短期間でアナトリア文明と歴史を語る代表的現場を垣間見られたことは、すべてAyseとチャンカヤクラブのおかげです。

濃厚な毎日が続くなか、ホストのAyseは疲れを見せず、夫のMehmetとともに朝食を準備してくれ、新鮮な野菜、豊富な種類のチーズ、ナスを煮た惣菜、チャイ、ヨーグルトなど、栄養たくさん、盛りだくさんの朝食を楽しませてもらいました。Ayseの人柄は素晴らしく、美しく有能な娘さんの話になると目を輝かせて語ってくれる時の笑顔が印象的でした。

夫のMehmetはトルコ系資本の開発会社の経理担当だそうで、優しいやさ男という雰囲気で、Ayseをよくサポートしているようでした。なおコロナ前の2018年5月に西東京クラブではチャンカヤクラブの受入をしており、今回会ったほとんどのメンバーはその時来日したメンバーだったようです。

発掘現場の見学

カッパドキアの
熱気球ツアー

イスタンブールの
ブルーモスク

旧市街でランチ

Ayseとピジョンバレーにて

ニュージーランド英語研修渡航

●英会話を学ぶ意欲が高い交流に（田中正子）

7月23日から８月2日まで、初めてACとして参加した渡航は全国の5クラブから14名の合同渡航でした。初対面の方が多い中でどうなるか不安でしたが、楽しい方ばかりですぐに打ち解けました。
ホスト達とも親しく会話している姿にFriendshipの団結力を痛感し、自分もその仲間でいることは幸せでした。特に研修渡航ということで英会話を学ぼうとする意欲が全面に表れて積極的に交流できたと思います。初めての海外旅行の中学生3人も楽しく学んだ経験は世界に視野を広げる大きなステップとなったに違いありません。Wairarapa、Manawatu Whanganuiの両クラブのプログラムは、ニュージーランドの美しい自然、伝統あるマオリの文化、キウイほか珍しい鳥や魚の観察、広い牧場で牛や羊との触れ合い、Indoor Bowlsゲーム、ホームパーティなど、バラエティーに富んだ素晴らしい内容で、毎日沢山のことを学び、また笑いの絶えない楽しい交流でした。ホストに「日本人はpoliteでfriendly、いつも喜んで受け入れる」と言われたことがとても嬉しく印象に残りました。

ルーマニア・ドラキュラ・ジャーニー

●FFIの Romania Dracula Journeyに参加して（高垣孝）

6月15日から26日まで、FFIが主催するルーマニア・ドラキュラジャーニーに参加しました。日本から私1人でしたが、米国6人、カナダ3人、オーストラリア2人、英国1人、ノルウエー2人の合計6ヶ国15名が参加。ルーマニアと言えば体操女子のコマネチ、作曲家のポルムベスク、革命前のチャウシェスク大統領ぐらいしか知らず、未知の国として興味がありました。また23年のシビウ渡航に参加できなかったので、チャンス再来ということで申し込みました。
首都ブカレストからバスでルーマニア各地を周遊し、ブカレストに戻る旅程ですが、ブカレスト、シビウ以外は聞いたこともない市や町ばかりでした。ツアー名にあるドラキュラはブラム・ストーカーの同名小説のモデルになったというヴラド・ツェペシュ3世のこと。彼は敵を串刺しにしたなどの逸話で、15世紀のワラキア公国の暴君と言われています。トランシルヴァニアにある居城だったというブラン城（通称ドラキュラ城）も訪問しました。ブカレストでは旧市街やチャウシェスクが贅沢の限りを尽くして建てたパレス、凱旋門等を見学、小パリと言われる雰囲気を感じ、また代表的なルーマニア料理と言われるサルマーレ(ロールキャベツ)や豪華なデザート(パパナシ)を嗜みました。そのほか欧州最大の塩鉱を見学したり、広大なワイナリーで試飲したりもしました。ルーマニアにはドラキュラを思い起こす激しい歴史の変遷があることがブカレスト市内、各地方にある教会が城壁で覆われていることからも感じられました。
そして、シビウでは1年前に西東京クラブを受入したメンバーの歓迎を受けました。市庁舎では市長を表敬訪問の上、シビウ市の紹介もされ、その後大広場のレストランで昼食を共にしました。
今回、通常のクラブ間の渡航・受入とは違ったガイド付きのバスツアーで、ルーマニアの歴史、地理、文化、宗教等を知る機会を得た上、FFの他国のメンバーと情報交換もでき、有意義なジャーニーでした。

2024年の活動・受入

台北クラブ受入

●初HCとして（戸ヶ崎満里）

10月1日から7日まで、12名のアンバサダーをお迎えし、東京バスツアーや横浜ツアー、ウェルカムパーティと怒濤の1週間を過ごしました。細かなトラブルはありましたが、無事羽田から鳥取クラブに送り出し、HCを務め終えました。ホスト、デイホスト、ディナーホストの方々にはお礼申し上げます。個人的には受入したACの秀美さんが積極的に台湾料理を作ってくれたり、日本語、中国語、台湾語を交えておしゃべりしたり、我が家のホームパーティではたくさんの方にも会え、充実した1週間でもありました。今年の台北への渡航も楽しみです。

東京バスツアー・明治神宮で参拝、弓道の見学体験、スカイツリー

●受入をして（松塚邦子）

我が家ではジェシカ、マーク夫妻の受入をしました。朝食の後は食器を洗ってくれたり、パーティの時は民族舞踊を披露してくれたり、歌ったり、と活発なご夫妻でした。フリーデーは「緑の多いところ」という希望で、小雨の降る中、昭和記念公園に行きました。緑のイチョウ並木にコスモスが咲いていて、満足してくれていたように思います。会話は翻訳機を使ってでしたが、楽しく過ごせました。また、受入資料がしっかりしていて（集合場所、時間、チケット購入など）スムーズに行動できました。HC、SHCの方、ありがとうございました。

中華街でランチ

パーティでは台北クラブの余興多数！　　**ディナーホストの加藤邸にて**

●おばんざいビュッフェでディナーホスト（加藤幸子）

10月3日のディナーホストを依頼されてから16人分のお料理をどうするか、寝ても覚めても頭から離れません。「そうだ、『おばんざい』のビュッフェスタイルで行こう！」と決め、お手伝いをして下さる鈴木さんと相談して少し落ち着きました。案ずるより実践。
当日は飲み物、果物、お菓子等沢山の差し入れもあり、煮物、揚げ物、ちまき、サラダ、グラタン等、鈴木さんや近所の友人の強力な助っ人のお陰でアンバサダーが到着するまでには何とかお迎えの形が整いました。
東京バスツアーを楽しんだ一行はそのまま我が家に直行、辿り着いた時は既にとっぷりと日が暮れていました。おばんざいで胃袋を満たしたゲストたちは、台湾語、英語、日本語が飛び交う会話、歌にギターも加わり、大合唱で盛り上がり、楽しいひと時を過ごされました。翌日のパーティではアンバサダーから「昨日は楽しかった、有難う」の握手やハグ。私も主人も肩の荷が下り、思い切りパーティを楽しむ事が出来ました。

●共通点がいっぱい?!（山本文）
今回の台北のアンバサダーにはびっくり。
①夫の名前が同じトシオ
②今年（2024年）が結婚50周年・金婚式
③娘2人
④長女の結婚相手がアメリカ人
⑤180センチの夫と150センチの妻
以上、５つも同じで大いに笑いました。

アンバサダーのスーザンと

シビウクラブとの再会

●大好きなホストと感動の再会（宇梶淑恵）
昨年ゴールデンウィークにルーマニア・シビウクラブが来日しました。2023年に一緒に渡航した田中夫妻、戸ヶ崎夫妻、このあと6月にルーマニアツアーに参加する高垣さんの6名で受入先の埼玉クラブが企画した5月3日の盆栽美術館訪問に参加、シビウのホストやメンバーたちと再会を果たすことができました。
日本でシビウのマリアに再会できたことに心から感動しました。マリアの姿を見つけた瞬間、ホームステイ中の素晴らしい思い出が一気に蘇りました。彼女の温かさと優しさは私にとって本当に大切な宝物であり、再び会えたことはまるで夢のようでした。特別で忘れられない再会の時間を作ってくださった埼玉クラブのみなさま、ありがとうございました。またいつか会える日が楽しみです。

大好きなマリア

マリアと
アンドレアのママと

シビウクラブの皆さん

インディビジュアル・ホスティング

●Individual Hostingについて（田中満穂）
この度FFIが企画したIndividual Hostの申請をしてみました。申請したのは2023年の秋で、期間は2泊3日、厚木在住のため箱根方面への観光は可能としました。
年末にWestern Michigan ClubのCathy Doppより滞在申請があり、日程は2024年2月に決まりました。彼女の息子が韓国に住んでおり、今回息子のフィアンセも含めて来日、関西方面で彼らと過ごしたあと、新幹線で移動。小田原でピックアップして、翌日箱根に案内しました。Cathyは日本の浮世絵師・川瀬巴水のファンで、日本的景色に大きな憧れを持っていました。その日は天気にも恵まれ、富士山の絶景を見せることができ、本人は大変感激していました。彼女の話は尽きることがなく、家に居ても夜遅くまで一緒にプライベートなことを含め様々なことを話しました。
Cathyはまだ現役のITコンサルタントであり、忙しい合間を縫って日本の休暇をこなさざるを得ず、今回のIndividual Journeyは彼女にとっては最高の機会であったとのこと。世代的には私たちより大分若く（多分50代）、現役のパワーを感じましたが、彼女のように忙しい世代でもこのようなIndividual Journeyを可能とするIndividual Hostの制度は、これからの時代のFFIには必須のプログラムではないかと実感しました。私たちもチャンスがあれば、この制度を利用してまだ行ったことのない地を訪れてみたいと思っています。

2024年の活動・その他

春のイベント

●長津田の里山ウオーキングと東工大の桜
（高垣幸子、八塚住子）
４月４日、 15名の方にご参加いただき、春のイベントを開催しました。お天気は曇りがちでしたが、桜も八分咲き、大通りからちょっと入っただけで、素晴らしい里山歩きが堪能できました。長津田は旧大山街道の宿場町として栄えた歴史に富む街で、見どころとして選ばれた「長津田十景」の寺社などのいくつかめぐりました。コースの終わりは、東工大（現東京科学大学）のレストランでランチ。話の花も咲きました。
「最後に高垣邸でのお茶タイム。これがまた素晴らしかった!!　FFの素晴らしさを再確認した一日になりました」（Aさん談）

サークル活動

●ウクレレクラブ誕生（田中正子）
受入のパーティーの余興にしたいという願いから、ウクレレを弾く会員が集まり、３月に第1回目の練習会を開きました。メンバーは５人でしたが、その後ブレーメンの音楽隊に惹かれるように（笑）、家にウクレレがある人や新たに買った人達も次々と仲間入りして12人となり、毎月ミーティングの前に集まり、練習を重ねてきました。
最初の目標は10月の台北クラブのウェルカムパーティーでデビューを飾ること。当日、ウクレレの演奏に皆が合唱し、会場を盛り上げて、メンバーみんなで目標達成を喜びました。また戸ヶ崎さん宅でのホームコンサートでの演奏の機会を得て、ウクレレの楽しさが更に深まりました。今後もレパートリーを増やしながら楽しく続けていきたいです。興味のある方ぜひ一緒にやりませんか。

ウクレレクラブのデビュー・台北受入れのパーティ

第2回ホームコンサートでの演奏

●サイクリングクラブ始動します（戸ヶ崎正次）
昨年、クロスバイクに乗り始め、9月には有名なしまなみ海道はじめ、さざなみ海道、とびしま海道と広島、愛媛のサイクリングロードをFFの旗を持って、走ってきました。
今後は渡航先でも走ってみたいですし、受入の際は地元の身近なところでもサイクリングできたら、と思っています。シニアにも最適なスポーツです。一緒に走りませんか？

2024年の活動・FFJ

日本大会（東京クラブ主催）

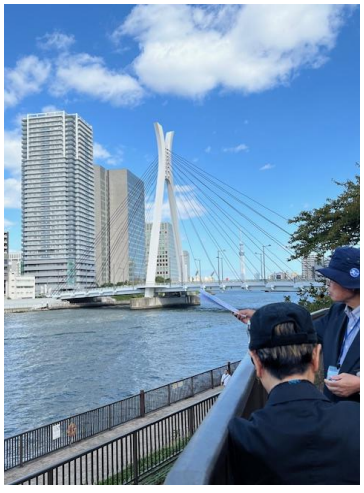
●FF日本大会に参加して（今村佐知子）

10月19日（土）東京クラブ主催の日本大会が品川で開催されました。日本の24クラブと台湾・高雄クラブの合計173人の参加でした。
全体会議は主催者からの挨拶に始まり、FFI本部からのビデオメッセージ、故愛知氏の思い出、参加クラブ紹介、そして事務的な報告で幕を閉じました。
グループ討議の最初の議題は「現会員の温存と新会員のリクルートについて」。メンバーチェンジをした２番目の議題は「次世代に伝えたいFFの活動で良かった経験」。結論が出たかどうか分かりませんが、皆FFIの活動を謳歌し次世代に伝えたい情熱は伝わってきました。
日本大会はFF会員の同窓会でもあります。「2年後、長崎で会いましょう」を合言葉に別れを惜しみました。

●日本大会OP「中央区町歩き・月島・佃島コース」（石井健二・嗣代）

このコースは、江戸時代から昭和にかけて埋め立てられ、多くは関東大震災、太平洋戦争の被害を受けていない、隅田川と運河に囲まれた人工の島を辿るものでした。参加者30人は、3グループに分かれて２時間、中央区文化財サポーター協会のガイドさんの説明を伺いながら歩きました。
月島は明治25年、東京築港湾計画の一環で完成した埋め立て地で、一区画4つの露地を挟んで住民が長屋住まい。食料品や日用品などの商店街で買い物をし（今はもんじゃ通り）、神社、都内最古の交番、善光寺ゆかりの観音堂など、何か懐かしさを感じる風情を楽しみました。
一方、隣の佃町は、江戸時代、幕府が江戸住民の食料補給に資する為、予て親交があった摂津国佃村（現在の大阪府内）と周辺の漁師約100家族に造成地を与えて転居、魚類加工品の製造販売の業につかせたのが発祥で、味付けに醤油が使われるようになって評判になり、この界隈は佃煮店が軒を連ねたそうです。対岸への渡し船跡、摂津国「住吉さま」の分霊を祀る住吉神社、祭りの道具、地蔵尊などを見物、庶民生活の息吹が感じられました。
佃町の先の石川島は、この島を幕府から与えられた船頭の名前に由来します。江戸の後期、寛政の改革を主導した名君、老中松平定信の命により、無宿人、軽犯罪者向けに「人足寄場」をここに設けて、大工、左官などの手仕事を身につけさせ、町に戻したそうです。その利益金で燈台も設けられました。明治以降、ここは造船場となりIHIの発祥地になりました。更に昭和、平成を経て、IHI跡地は高層マンション群と庭園に囲まれた美しい「リバーシティ21」として再開発されており、時代による町の移り変わりを興味深く実感しました。
ツアーの後は、東京、新潟、台湾・高雄など各地のクラブの皆さんともんじゃ焼きに舌鼓をうちました。

もんじゃ焼き店の前で



高層ビル群

●日本大会OP「音楽の集い･FFWT第2回ホームコンサート」（戸ヶ崎正次）

今回は日本大会のオプショナルとして翌日に開催。東京4名、埼玉6名、静岡2名、西東京15名の合計4クラブ27名の参加がありました。

西東京のウクレレクラブを筆頭に、ピアノやクラリネット、ギターと歌のデュオなど6組が出演。クラシックやポップス、日本の歌とバリエーションに富んだ演奏を楽しみました。

終演後、持ち寄りで懇親会となり、皆様が腕を振るったお料理や地元のおみやげをいただきながら、おしゃべりが弾みました。一人ひとことずつ話す時間ももうけ、話と笑いが尽きず、大変楽しい時間でした。

次回は6月の関東ブロック会議（西東京主催）と合わせて開催予定です。多数のご参加お待ちしています。

開演前に
みなさんで

持ち寄りで集まった
お料理やお菓子

大盛況だった懇親会

人前で初披露の
正子さん

加藤夫妻はギターと
歌のデュオ

山本さんは
童謡メドレー

ジャズの
名曲を歌う

満穂さんは
ピアノソロ

関東ブロック会議（埼玉クラブ主催）

●ご報告（石井嗣代）

6月30日、関東ブロック会議が埼玉クラブの主催で、大宮にて開かれました。埼玉、東京、西東京の3クラブが出席、山梨は欠席。早めのビュッフェランチの後、場所を変え午後から会議に。全体会議、グループ討議、そしてその報告と質疑応答、個々のクラブの活動報告の時間があり、中身の濃い勉強会になりました。東京クラブは日本大会に向けて準備を加速させている、埼玉クラブはESSからの新会員が増え、活気があり他クラブの渡航などに良く参加するようになった、西東京は会員が減ってしまったなど。

インディビジュアル渡航の受入を経験した田中さんの報告もありました。MyFFについての質問も多かったです。高齢化は共通した悩みであり、渡航時などクラブの枠を超えた協力が必要になってきたという共通認識が得られました。

対面での会議は活発で、共有する理念のもと交流を盛んにして行こうと言う気持ちでは一致しました。

尚、今年は西東京クラブの主催で、町田市民ホールで６月28日（土）に開催予定です。是非ご参加ください。

お知らせ

新会員紹介

左から安倍さん、浦川さん、谷口さん、野澤勉さん、和子さん

●野澤勉・和子

横浜市旭区在住の同じ年齢（73歳）の夫婦です。1978年に結婚し、自宅マンションを購入、長男誕生とあわただしい年の翌年ドイツ・ハンブルグに駐在しました。セコハンのゴルフを乗り回し、ヨーロッパ中を所狭しと旅行しました。その頃、田中満穂・正子夫妻と現地で出会いました。満穂氏は私（勉）と大学のクラスメイトでした。次男がハンブルグ大学病院で生まれて間もなく1981年に帰国し、目黒から横浜に引っ越しました。やがて長女が生まれてすぐの1990年1月（ベルリンの壁崩壊の翌月）に2度目のハンブルグ駐在となり、1998年暮れまで家族でそこで暮らしました。現在は3人の子供たちも独立し、夫婦と愛犬アントンと今の家で過ごしています。二人の共通の趣味はゴルフで、週に1回ほど富士山の麓の篭坂に出かけています。妻の和子は他にもテニスやトールペイントなど多趣味で家にじっとしていません。私は月・金と会社に出ておりますが、アンバサダーをお泊めすることがありましたら、精いっぱいお迎えしたいと思います。

●谷口祥子

この度、入会させて頂きました。どうぞよろしくお願い致します。神戸で生まれ育ちました。今は横浜の緑区に40年余り住んでいます。学生時代はヴァイオリンを専攻していました。若い頃は家事、育児、演奏活動とそれなりに多忙でしたが、今は時間の余裕も多少でき、「これからは余生を楽しみつつ、世の中に役に立ちながら見聞を広められれば…」と思い入会を決意致しました。一昨年は3ヶ月余り世界一周の船旅に出ました。気候に合わせた人々の暮らし、その地の歴史など学び大変貴重な体験を致しました。これから皆様方と共に有意義な日々を重ねたく何卒よろしくご指導賜りますようお願い致します。

●安倍知子

私は昨年春からの入会ですが、10月に台北からの受入に関わり、弓道場での体験やウェルカムパーティーなど、皆さんと楽しく貴重な経験をさせて頂きました。
若い頃、主人共々1年半ほどアメリカで過ごしましたが、アメリカ人にとてもフレンドリーに接してもらったことが、強く印象に残っています。FFの受入でも、同じようにこちらもフレンドリーに接して、日本での生活を楽しんで頂きたいなと思っています。ウクレレの会も、新鮮で楽しく過ごせています。ありがとうございます。皆さんとの交流が、主人共々何よりの元気の素になっていると感じています。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

●浦川ヒサ子

自分自身の時間が持てるようになった2019年4月ごろからスマホを持参して毎朝散歩をするのが日課になりました。ある朝、薬師池公園でカメラマンが大勢集まっていたので近寄ってみると、レンズの先にカワセミの姿がありました。私もスマホで撮影しましたが、写っていたカワセミは小さくて米粒ほど。そこで早速一眼レフと600㎜望遠レンズを購入し、カメラ持参の朝散歩が始まりました。散歩の目的地は薬師池公園と恩田川に絞り、カワセミの撮影に没頭して行きました。
カワセミは光の波長により発色が微妙に異なる羽の美しさは言うまでもなく、時には可愛らしく、又時には鋭く尖った表情を見せる顔も魅力的です。近頃の人間社会では軽視されがちな求愛給餌のマナーには感銘を受けます。又、厳しくも愛情に満ち哲学を感じさせる子育て方法も見事で、いつも見る度に感動します。撮影する度に私はすっかりカワセミに魅せられてしまいました。カワセミに恋したと言っても過言では有りません。それからは時間が許す限り撮影に出掛け、撮り貯めた写真は膨大な数に。怖いもの知らずで、カメラを購入した一年半後に第一回目の個展を開催。その後も毎年の如く写真展を開いています。今年は節目となる第5回写真展を4月2日～7日に町田市フォトサロンにて開催します。タイトルは「カワセミ讃歌－花と水と空と」です。皆様方には私の愛するカワセミ達に会い、カワセミの魅力を感じて頂ければ幸いです。

西東京クラブ・ブローシャー作成

●ブローシャー完成（佐原泰子）

この度、西東京クラブのブローシャー（チラシ）が完成しました。
きっかけは「これまで以上に会員を増やしてFFの交流を活発にしよう！！」というFFIの活動方針が発表されたことです。そこで北部・関東・中部・西部の各FR４名がFFJのブローシャー作成に取り掛かり、北部のFR矢上さんのデザインが採用となりました。ところが当初デザイン担当は西東京クラブで、専門家の田中仁一さんに依頼しており、すでに骨格を考えて下さっていました。せっかくの彼の素晴らしいアイディアを生かすことはできないか？と考え、昨年10月ごろから西東京独自のブローシャー作成がスタートしました。
企画・デザインを田中仁一さん、編集全般は戸ヶ崎満里さん、ほかに写真・原稿・校正など多くの会員が参加して、充実した内容のカラフルなブローシャーができあがりました。仁一さん、満里さん、そして作成にご協力頂きました西東京クラブの皆様、お忙しい中、ご尽力いただきましてありがとうございました。
このブローシャーを是非多くの方にごらんいただき、FFの活動に興味を持ち、そして参加してくださるようにと願っております。

今後の予定

【定例行事】（毎月1回）

■クラブミーティング
　〇2月23日（日）14:00～16:00 つくし野コミュニティセンター
　〇3月15日（土）14:00～16:00 つくし野コミュニティセンター
■ウクレレの練習
　〇ミーティングと同日、同会場にて13:00～14:00
■役員会
　〇第3月曜日20:00～21:00　Skype
■ PC教室
　〇第1月曜日20:00～21:00　Skype

12月のミーティングで
クリスマスソングを披露する
ウクレレクラブ

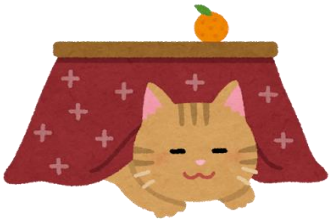
【2025年度】

■関東ブロック会議（西東京クラブ主催）
　〇6月28日（土）町田市民ホール第3会議室
■第3回FFWTホームコンサート
　〇6月29日（日）戸ヶ崎宅（小田急江ノ島線鶴間駅）
■受入
　〇3月23日（日）～3月26日（水）　英・ワイト島クラブ（HC宇：梶淑恵）
　〇5月14日（水）～5月20日（火）　米・ニューハンプシャークラブ
　　（HC：高垣孝、SHC：田中満穂）
　　▷5月15日（木）ウェルカムパーティ・町田市民ホール第4会議室
■渡航
　〇９月1日（月）～16日（火）　オーストラリア英語研修渡航（AC：未定）
　　サンシャインコースト、ケンプシークラブに各7泊
　〇11月下旬～12月初旬　台湾・台北クラブ（AC：戸ヶ崎正次）

【2026年度】

■受入（未定）
■渡航（リクエスト中）①英・ワイト島②カナダ③ベルギー

◆編集後記◆



1年ぶりの発行の今回は渡航、受入、イベントやサークル活動と盛りだくさんの内容で10ページの大作に。多くの会員の方から原稿をお寄せいただき、完成しました。ご協力ありがとうございました。個人的にはしまなみ海道などのサイクリングツアー、個人のホームコンサート、台北受入、FFWTのホームコンサート、ブローシャー作成、会報作成と多忙な秋冬でした。寒さ厳しい折、皆様ご自愛ください。（戸ヶ崎）

【会員状況】　2025年1月現在
　会員数：30名
●入会：安倍知子、浦川ヒサ子、谷口祥子、
　　野澤勉、野澤和子、木目田英男
●休会：小川志保、佐藤薫
●退会：大場佳世子、小川暁子、菅沼益子、
　　高垣祐子、竹田威彦、八塚住子

発行日：2025年1月25日　第40号
発行者：ザ・フレンドシップフォース
　　西東京クラブ
会報担当：戸ヶ崎満里
ホームページ：http://ffw-tokyo.org/
　　担当：戸ヶ崎正次